

---

# 2006年3月期中間決算説明会

新日本製鐵株式會社  
2005年10月31日



---

< 本日の内容 >

- 1 . 2006年3月期 中間決算実績
- 2 . 2006年3月期 年度決算見通し
- 3 . 質疑応答

代表取締役副社長CFO 藤原 信義  
取締役 谷口 進一

## . 2006年3月期中間実績

- 1 . 中間連結損益実績
- 2 . 連結経常損益分析(対前年同期実績・対前回見通し)
- 3 . 連結特別損益
- 4 . 連結セグメント別実績
- 5 . 連結・単独貸借対照表
- 6 . 連結有利子負債残高
- 7 . 主要上場グループ会社等損益実績

\*資料中の「前回見通し」値は、2005.9.8 公表値

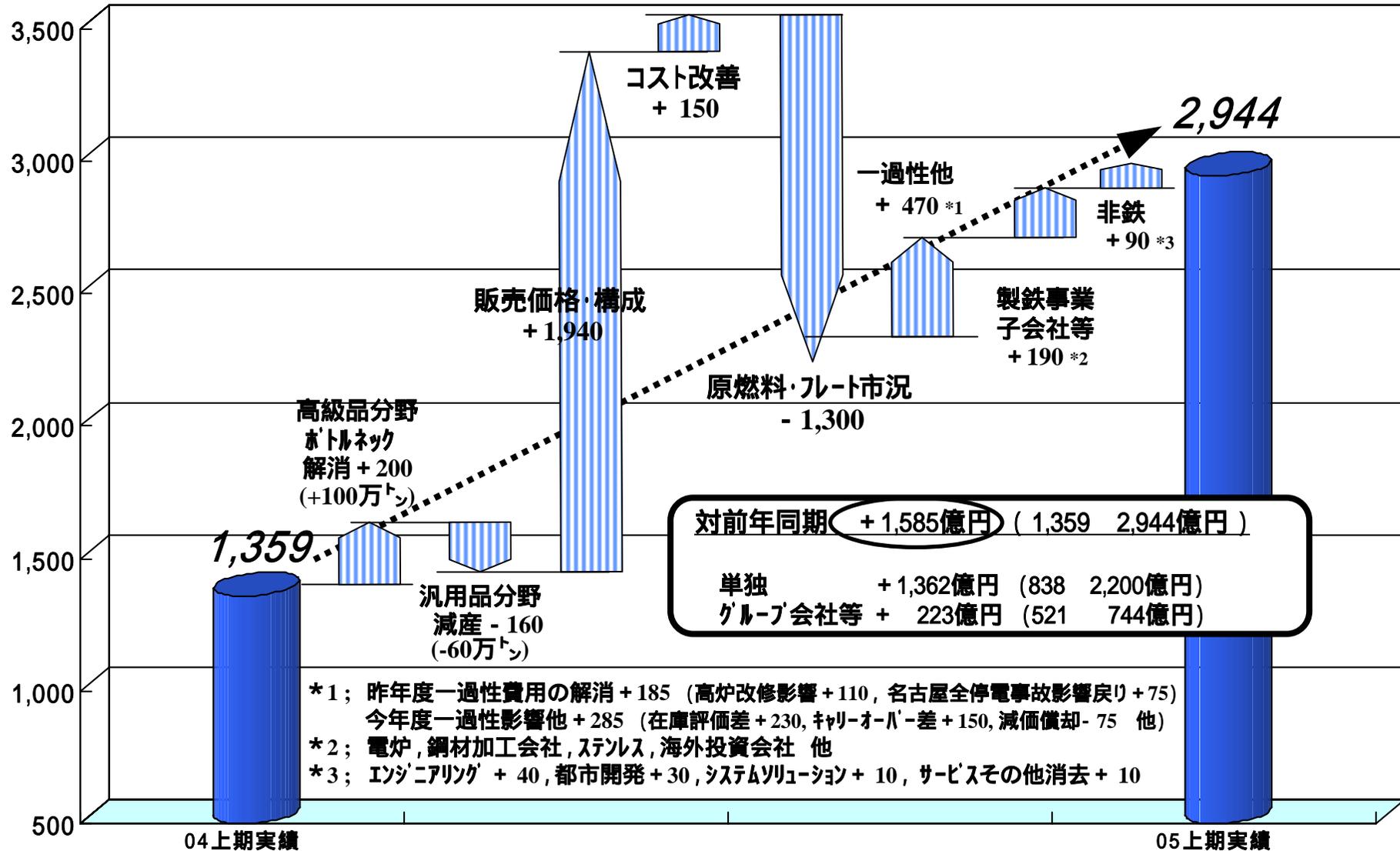
# 1. 中間連結損益実績

(単位:億円)

	05上期実績 (A)	04上期実績 (B)	増減 (A-B)	前回見通し (C)	増減 (A-C)
<b>売上高</b>	<b>18,634</b>	<b>15,092</b>	<b>+3,542</b>	<b>18,400</b>	<b>+ 234</b>
単独	12,454	9,414	+3,040	12,300	+ 154
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	6,180	5,678	+ 502	6,100	+ 80
<b>営業損益</b>	<b>3,013</b>	<b>1,422</b>	<b>+1,591</b>	<b>2,750</b>	<b>+ 263</b>
単独	2,363	945	+1,418	2,250	+ 113
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	650	477	+ 173	500	+ 150
<b>経常損益</b>	<b>2,944</b>	<b>1,359</b>	<b>+1,585</b>	<b>2,700</b>	<b>+ 244</b>
単独	2,200	838	+1,362	2,150	+ 50
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	744	521	+ 223	550	+ 194
<b>特別損益</b>	<b>80</b>	<b>11</b>	<b>+ 91</b>	<b>70</b>	<b>+ 10</b>
<b>当期損益</b>	<b>1,956</b>	<b>810</b>	<b>+1,146</b>	<b>1,800</b>	<b>+ 156</b>
単独	1,421	513	+ 908	1,350	+ 71
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	535	297	+ 238	450	+ 85
<b>連結R O S</b>	<b>15.8%</b>	<b>9.0 %</b>	<b>+6.8 %</b>	<b>14.7%</b>	<b>+1.1 %</b>

## 2-1. 連結経常損益分析 対前年同期増減

(単位: 億円)



## 2-2. 連結経常損益分析 対前回見通し増減

(単位:億円)

	05上期実績	前回見通し	増減
<b>売上高</b>	<b>18,634</b>	<b>18,400</b>	<b>+ 234</b>
単独	12,454	12,300	+ 154
グループ会社等	6,180	6,100	+ 80
<b>営業損益</b>	<b>3,013</b>	<b>2,750</b>	<b>+ 263</b>
単独	2,363	2,250	+ 113
グループ会社等	650	500	+ 150
<b>経常損益</b>	<b>2,944</b>	<b>2,700</b>	<b>+ 244</b>
単独	2,200	2,150	+ 50
グループ会社等	744	550	+ 194
<b>特別損益</b>	<b>80</b>	<b>70</b>	<b>+ 10</b>
<b>当期損益</b>	<b>1,956</b>	<b>1,800</b>	<b>+ 156</b>
単独	1,421	1,350	+ 71
グループ会社等	535	450	+ 85

**経常損益 2,700 2,944 億円**  
+ 244億円

〔製鉄〕・汎用品分野減産(-10万ト) - 30  
 (+ 160)・販売価格・構成 + 40  
 ・コスト改善 ~  
 ・原燃料・フレート市況 ~  
 ・一過性影響他 + 40  
 (在庫評価差 + 50 他)  
 ・子会社等 + 110  
 (電炉, 鋼材加工会社, ステンレス他)

〔非鉄〕・エンジニアリング + 20  
 (+ 80)・都市開発 + 10  
 ・化学・非鉄素材 + 20  
 ・システムソリューション + 10  
 ・サービスその他・消去 + 20

### 3. 連結特別損益

(単位:億円)

	05上期実績	04上期実績	差異
固定資産売却益	76	28	+ 48
投資有価証券等売却益	3	48	- 45
会計基準変更時差異償却	~	21	+ 21
災害損失引当金繰入額等	~	47	+ 47
子会社事業構造転換損失	~	20	+ 20
<b>特別損益</b>	<b>80</b>	<b>11</b>	<b>+ 91</b>

## 4. 連結セグメント別実績

(単位:億円)

	05上期実績(A)		売上高 営業 利益率	04上期実績(B)		売上高 営業 利益率	増減(A-B)		前回見通し	
	売上高	営業損益		売上高	営業損益		売上高	営業損益	売上高	営業損益
連結計	18,634	3,013	16.2%	15,092	1,422	9.4%	+3,542	+1,591	18,400	2,750
製鉄	15,091	2,824	18.7%	12,089	1,305	10.8%	+3,002	+1,519	14,900	2,630
エンジニアリング	1,277	24	-1.9%	870	57	-6.6%	+407	+33	1,200	30
都市開発	385	45	11.7%	250	17	7.0%	+135	+28	380	40
化学・非鉄素材	1,800	* 116	6.5%	1,585	* 115	7.3%	+215	+1	1,800	100
システムソリューション	647	46	7.2%	657	41	6.3%	10	+5	640	40
サービスその他	330	2		365	1		35	+1	330	0
消去	899	2		725	2		174	+4	850	30

\* 新日鐵化学㈱ 連結調整勘定償却(13.6億円/半期)を含む

## 5-1. 連結・単独貸借対照表

総資産 (単位:億円)	05上期実績(05/9E)	04年度実績(05/3E)	05/9E 05/3E
連結(単独)	41,567 (30,687)	38,721 (28,199)	+2,846 (+2,488)

流動資産	増減	+ 595	(+ 365)
	05/9E	13,167	(7,645)
	05/3E	12,572	(7,280)
現金預金	増減	1 515	( 530)
	05/9E	761	(201)
	05/3E	1,276	(731)
受手・売掛	増減	127	(+ 31)
	05/9E	4,018	(1,801)
	05/3E	4,145	(1,770)
棚卸資産	増減	2 + 1,154	(+ 805)
	05/9E	6,813	(4,299)
	05/3E	5,659	(3,494)
その他	増減	+ 88	(+ 61)

固定資産	増減	+ 2,251	(+ 2,122)
	05/9E	28,399	(23,041)
	05/3E	26,148	(20,919)
有形・無形	増減	+ 34	(+ 66)
	05/9E	16,877	(11,456)
	05/3E	16,843	(11,390)
投資等	増減	+ 2,217	(+ 2,056)
	05/9E	11,522	(11,585)
	05/3E	9,305	(9,529)

有価証券時価回復による含み益増+1,817、持分法会社剰余金増+108等

負債	増減	+ 30	(+ 364)
	05/9E	25,951	(18,372)
	05/3E	25,921	(18,008)
買掛・支手・未払費用等	増減	+ 30	( 23)
有利子負債	増減	558	( 157)

少数株主持分	増減	+ 80	(~)
--------	----	------	-----

資本	増減	3 + 2,736	(+ 2,123)
	05/9E	14,620	(12,314)
	05/3E	11,884	(10,191)

- 1 現預金取崩 515  
 2 原燃料高騰による在庫単価上昇影響等  
 3 利益剰余金+1,622(当期純利益+1,956、配当 337他)、有価証券評価差額+1,083(保有株式株価回復影響(税後))  
 cf.日経平均13,574円(05.9末) 11,669円(05.3末)

\* ( )内は、単独で内数

## 5-2. 連結・単独比較貸借対照表(増減)

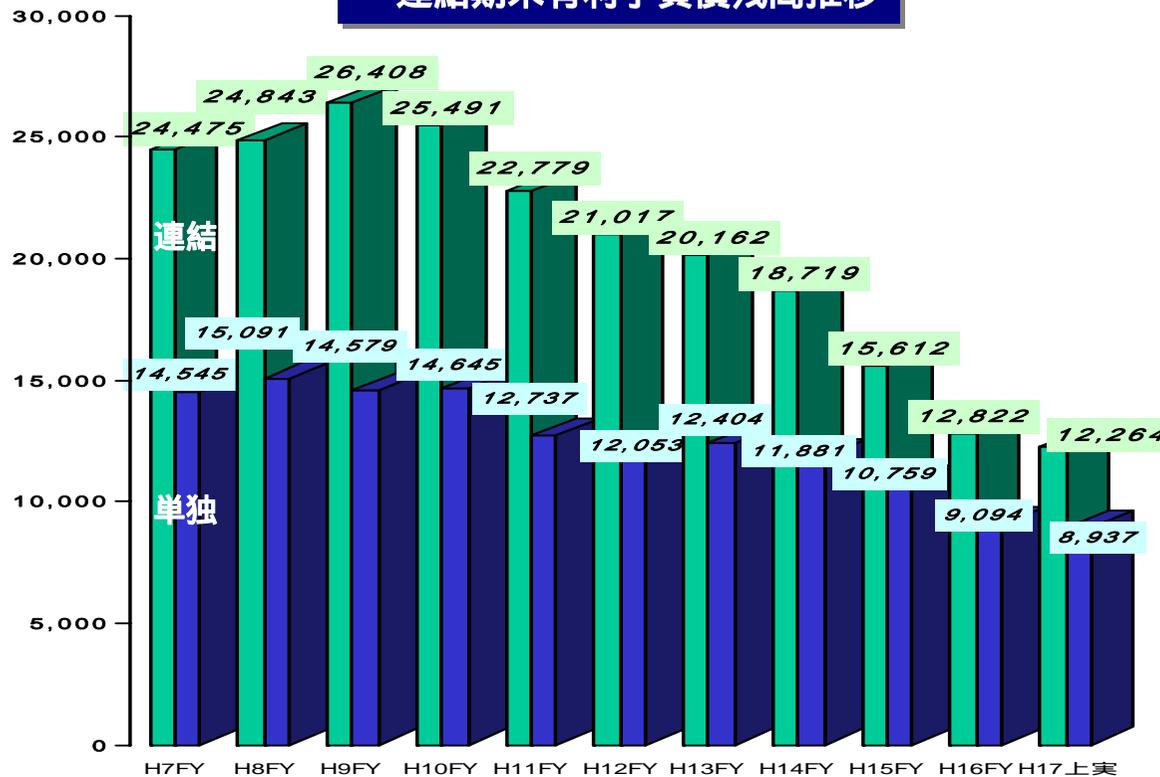
(借方)			(貸方)		
科 目	増 減		科 目	増 減	
	連結	単独		連結	単独
<b>流動資産</b>	<b>+ 595</b>	<b>+ 365</b>	<b>流動負債</b>	<b>+ 202</b>	<b>+ 921</b>
現金預金	515	530	支手・買掛・未払費用等	+ 30	23
有価証券	6	-	短借・社債	+ 313	+ 790
受手・売掛	127	+ 31	未払金等	140	+ 104
棚卸資産	+ 1,154	+ 805	<b>固定負債</b>	<b>172</b>	<b>508</b>
その他	+ 88	+ 61	長借・社債	870	947
(うち貸倒引当金)	( 37)	( 54)	引当金他	8	379
			繰延税金負債	+ 708	+ 818
<b>固定資産</b>	<b>+ 2,251</b>	<b>+ 2,122</b>	<b>負債 計</b>	<b>+ 30</b>	<b>+ 364</b>
有形	+ 48	+ 67	<b>少数株主持分</b>	<b>+ 80</b>	<b>-</b>
無形	14	1	資本金	-	-
投資等	+ 2,217	+ 2,056	資本剰余金	-	-
(うち時価評価差額)	(+ 1,817)	(+ 1,743)	土地再評価差額金	8	-
(うち貸倒引当金)	(+ 33)	( 20)	利益剰余金	+ 1,622	+ 1,084
(うち前払年金費用)	(+ 52)	(-)	その他有価証券評価差額金	+ 1,083	+ 1,039
(うち繰延税金資産)	( 27)	(-)	為替換算調整勘定	+ 43	-
			自己株式	3	1
			<b>資本 計</b>	<b>+ 2,736</b>	<b>+ 2,123</b>
<b>資産 計</b>	<b>+ 2,846</b>	<b>+ 2,488</b>	<b>負債、少数株主持分 及び資本計</b>	<b>+ 2,846</b>	<b>+ 2,488</b>

## 6. 連結有利子負債残高

(単位: 億円)

	H14年度	H15年度	H16年度	H17上期実績
連結期末有利子負債残高	18,719	15,612	12,822	12,264 ( 558)
D/E (Debt Equity ratio)	2.37	1.66	1.08	0.84 ( -0.24)

連結期末有利子負債残高推移



H16年度末 H17上期末  
558億円 削減の内訳

- ・フリーキャッシュフロー 517億円
- ・経常利益 2,944億円
- ・減価償却 872億円
- ・設備投資 - 967億円
- ・税支出 - 1,281億円
- ・投融資・運転バランス等 - 1,051億円
- ・配当支出 - 337億円
- ・手元減など 378億円

## 7. 主要上場グループ会社等損益実績

(単位:億円)

			売上高	経常利益	当期利益
大阪製鐵	連	04上実	463	83	47
		05上実 (10/27発表)	452	93	55
新日鉄ソリューションズ	連	04上実	657	43	23
		05上実 (10/31発表)	648	48	27
日鐵ドラム	連	04上実	119	5	2
		05上実 (10/26発表)	99	8	5
日鐵物流	連	04上実	372	5	3
		05上実 (10/31発表)	412	10	6
日鐵商事 (単独)	持	04上実	4,268	39	13
		05上見 (5/13値、11/11発表予定)	4,600	30	12
太平工業 (単独)	持	04上実	693	19	15
		05上見 (5/20値、11/18発表予定)	600	20	18

注) 連 = 連結子会社、持 = 持分法適用関連会社

新日鐵化学	連	04上実	1,294	112	95
		05上実 (10/31発表)	1,468	102	57
新日鐵住金ステンレス	連	04上実	1,216	83	46
		05上実 (10/31発表)	1,316	99	61

## 2006年3月期決算見通し

- 1 . 連結・単独損益見通し
- 2 . 連結経常損益分析(対前年度・対前回見通し・上実対下見)
- 3 . 連結セグメント別損益見通し(対前年度・上実対下見)
- 4 . 主要上場グループ会社等損益見通し
- 5 . 連結有利子負債残高見通し

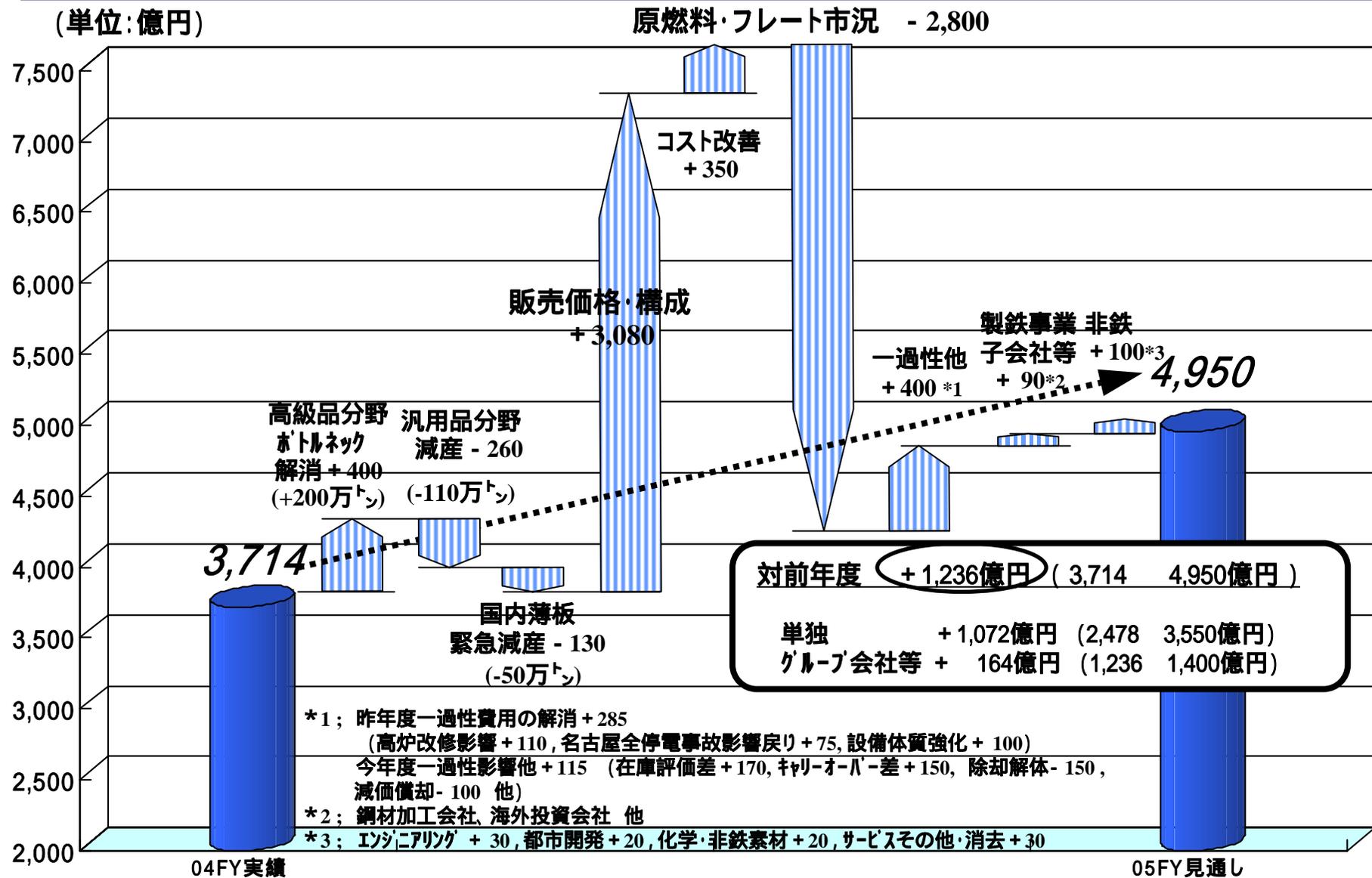
\*資料中の「前回見通し」値は、2005.9.8 公表値

# 1. 連結・単独損益見通し

(単位:億円)

	05年度見通し		04年度実績		対前年度	対前年上期
		上期		上期		
<b>売上高</b>	<b>38,650</b>	<b>18,634</b>	<b>33,893</b>	<b>15,092</b>	<b>+ 4,757</b>	<b>+3,542</b>
単独	25,500	12,454	21,478	9,414	+ 4,022	+3,040
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	13,150	6,180	12,415	5,678	+ 735	+ 502
<b>営業損益</b>	<b>5,250</b>	<b>3,013</b>	<b>4,299</b>	<b>1,422</b>	<b>+ 951</b>	<b>+1,591</b>
単独	4,000	2,363	3,038	945	+ 962	+1,418
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	1,250	650	1,261	477	- 11	+ 173
<b>経常損益</b>	<b>4,950</b>	<b>2,944</b>	<b>3,714</b>	<b>1,359</b>	<b>+ 1,236</b>	<b>+1,585</b>
単独	3,550	2,200	2,478	838	+ 1,072	+1,362
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	1,400	744	1,236	521	+ 164	+ 223
<b>特別損益</b>	<b>130</b>	<b>80</b>	<b>19</b>	<b>11</b>	<b>+ 149</b>	<b>+ 91</b>
<b>当期損益</b>	<b>3,200</b>	<b>1,956</b>	<b>2,206</b>	<b>810</b>	<b>+ 994</b>	<b>+1,146</b>
単独	2,300	1,421	1,458	513	+ 842	+ 908
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	900	535	748	297	+ 152	+ 238
<b>連結 R O S</b>	<b>12.8%</b>	15.8%	<b>11.0%</b>	9.0%	<b>+ 1.8%</b>	<b>+ 6.8%</b>

## 2-1. 連結経常損益分析 対前年度増減



## 2-2. 連結経常損益分析 対前回見通し増減

(単位:億円)

	05年度見通し	前回見通し	増減
<b>売上高</b>	<b>38,650</b>	<b>38,800</b>	<b>- 150</b>
単独	25,500	25,700	- 200
ケルーフ会社等	13,150	13,100	+ 50
<b>営業損益</b>	<b>5,250</b>	<b>5,100</b>	<b>+ 150</b>
単独	4,000	3,900	+ 100
ケルーフ会社等	1,250	1,200	+ 50
<b>経常損益</b>	<b>4,950</b>	<b>4,900</b>	<b>+ 50</b>
単独	3,550	3,700	- 150
ケルーフ会社等	1,400	1,200	+ 200
<b>特別損益</b>	<b>130</b>	<b>90</b>	<b>+ 40</b>
<b>当期損益</b>	<b>3,200</b>	<b>3,100</b>	<b>+ 100</b>
単独	2,300	2,300	~
ケルーフ会社等	900	800	+ 100

経常損益 4,900 4,950 億円  
+ 50億円

〔製鉄〕・販売価格・構成 + 80  
(+ 30)・国内薄板緊急減産 - 130  
・一過性影響他 - 90  
(除却解体費用 - 150 他)  
・子会社等 + 170  
(電炉 他)

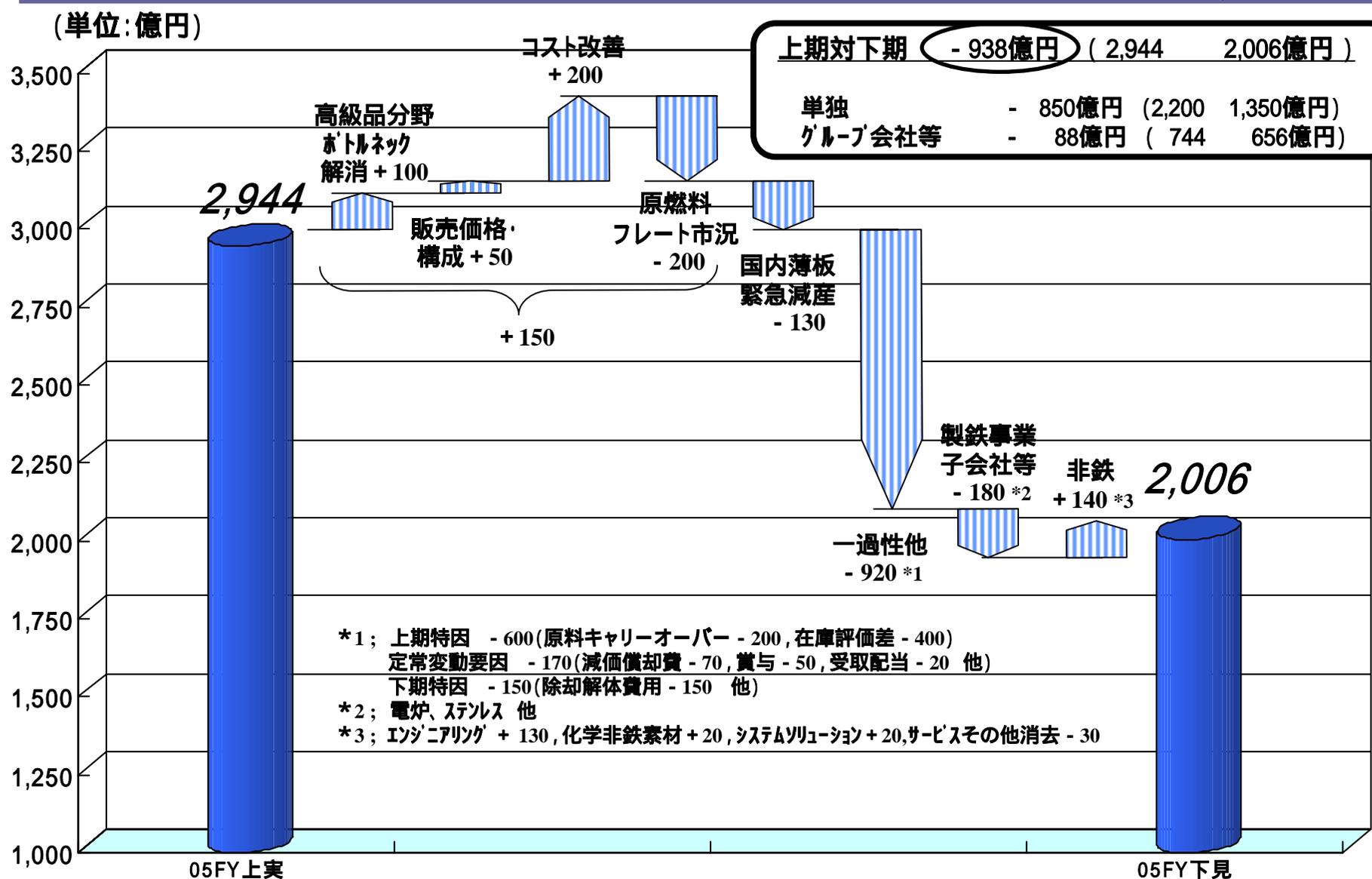
〔非鉄〕・化学・非鉄素材 + 10  
(+ 20)・サービスその他・消去 + 10

## 2-3. 連結・単独損益上下差

(単位:億円)

		05年度見通し	05上実(A)	05下見(B)	上下差(A B)
売上高		<b>38,650</b>	<b>18,634</b>	<b>20,016</b>	<u>+ 1,382</u>
	単独	25,500	12,454	13,046	+ 592
	ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	13,150	6,180	6,970	+ 790
営業損益		<b>5,250</b>	<b>3,013</b>	<b>2,237</b>	<u>- 776</u>
	単独	4,000	2,363	1,637	- 726
	ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	1,250	650	600	- 50
経常損益		<b>4,950</b>	<b>2,944</b>	<b>2,006</b>	<u>- 938</u>
	単独	3,550	2,200	1,350	- 850
	ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	1,400	744	656	- 88
特別損益		<b>130</b>	<b>80</b>	<b>50</b>	<u>- 30</u>
当期損益		<b>3,200</b>	<b>1,956</b>	<b>1,244</b>	<u>- 712</u>
	単独	2,300	1,421	879	- 542
	ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社等	900	535	365	- 170

## 2-4. 連結経常損益分析 上実対下見



## 3-1. 連結セグメント別損益見通し

(単位:億円)

	05年度見通し(A)		売上高 営業 利益率	04年度実績(B)		売上高 営業 利益率	増減(A-B)		前回見通し	
	売上高	営業損益		売上高	営業損益		売上高	営業損益	売上高	営業損益
連結計	38,650	5,250	13.6%	33,893	4,299	12.7%	+4,757	+ 951	38,800	5,100
製鉄	30,650	4,680	15.3%	26,207	3,769	14.4%	+4,443	+ 911	30,900	4,580
エンジニアリング	3,000	90	3.0%	2,798	66	2.4%	+ 202	+ 24	3,000	90
都市開発	1,030	100	9.7%	892	85	9.5%	+ 138	+ 15	1,030	100
化学・非鉄素材	3,700	* 260	7.0%	3,311	* 263	8.0%	+ 389	- 3	3,600	250
システムソリューション	1,500	120	8.0%	1,465	113	7.8%	+ 35	+ 7	1,500	120
サービス その他・消去	1,230	0		782	0		448	0	1,230	40

\* 新日鐵化学㈱ 連結調整勘定償却( 27億円/年)を含む

## 3-2. 連結セグメント別損益見通し(上下差)

(単位:億円)

	05年度見通し		05上期実績(A)		05下期見通し(B)		上下差(A B)	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
連結計	38,650	5,250	18,634	3,013	20,016	2,237	+ 1,382	- 776
製鉄	30,650	4,680	15,091	2,824	15,559	1,856	+ 468	- 968
エンジニアリング	3,000	90	1,277	24	1,723	114	+ 446	+ 138
都市開発	1,030	100	385	45	645	55	+ 260	+ 10
化学・非鉄素材	3,700	* 260	1,800	* 116	1,900	* 144	+ 100	+ 28
システムソリューション	1,500	120	647	46	853	74	+ 206	+ 28
サービス その他・消去	1,230	0	568	4	662	4	- 94	- 8

\* 新日鐵化学㈱ 連結調整勘定償却( 27億円, 上期・下期とも各13.6億円)を含む

## 4. 主要上場グループ会社等損益見通し

(単位:億円)

			売上高	経常利益	当期利益
大阪製鐵	連	04年度実績	946	153	87
		05年度見通し (10/27 発表)	892	148	85
新日鉄ソリューションズ	連	04年度実績	1,465	118	66
		05年度見通し (10/31 発表)	1,500	120	67
日鐵ドラム	連	04年度実績	213	10	4
		05年度見通し (10/26 発表)	198	15	9
日鐵物流	連	04年度実績	765	13	6
		05年度見通し (10/31 発表)	840	16	10
日鐵商事 (単独)	持	04年度実績	9,117	80	23
		05年度見通し (5/13値、11/11発表予定)	9,500	70	25
太平工業 (単独)	持	04年度実績	1,476	49	35
		05年度見通し (5/20値、11/18発表予定)	1,350	45	42

注) 連 = 連結子会社、持 = 持分法適用関連会社

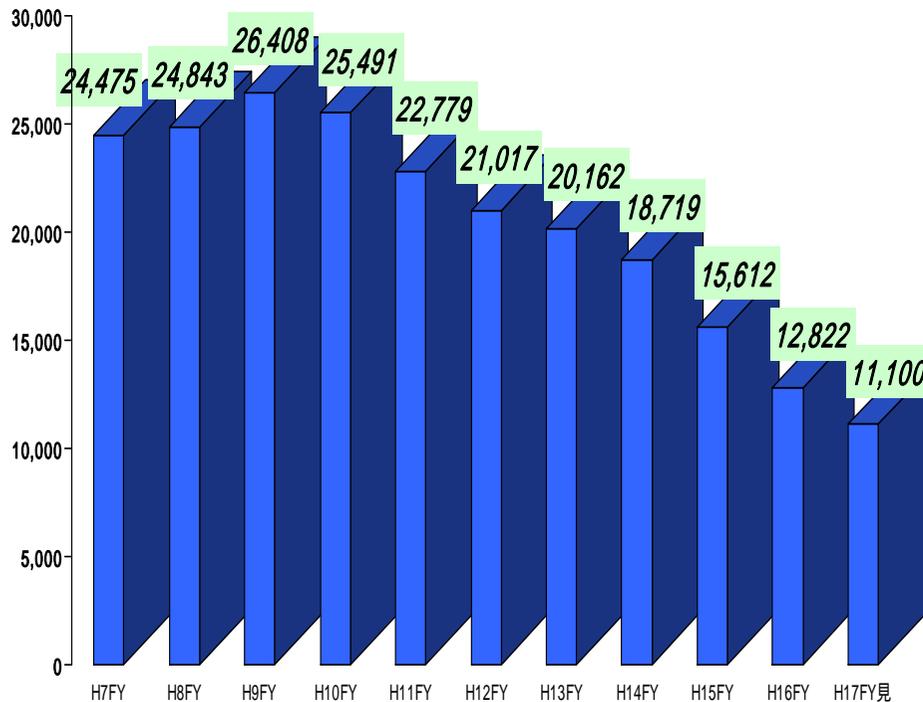
新日鐵化学	連	04年度実績	2,706	237	208
		05年度見通し (10/31 発表)	3,000	240	n.a.

## 5. 連結有利子負債残高見通し

(単位: 億円)

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度見通し
連結期末有利子負債残高	18,719	15,612	12,822	11,100 ( 1,720)程度
D/E (Debt Equity ratio)	2.37	1.66	1.08	0.74 ( - 0.34)

連結期末有利子負債残高推移



H16年度 H17年度見通し	
1,720億円程度 削減の内訳	
・フリーキャッシュフロー	1,180億円
・経常利益	4,950億円
・減価償却	1,870億円
・設備投資	- 2,040億円
・税支出	- 2,070億円
・投融資・運転バランス等	- 1,530億円
・配当支出	- 340億円
・手元減など	880億円

## ご参考

1. 諸元前提 (製鉄事業 生産・出荷関連)
2. 国内鋼材消費・国内活動水準
3. 国内在庫推移
4. 原燃料・フレート等の価格推移
5. エンジニアリング事業 連結受注高・売上高
6. 設備投資・減価償却費見通し
7. 連結対象範囲
8. 主要連結財務指標
9. 直近の株主構成

# 1. 諸元前提 (製鉄事業 生産・出荷関連)

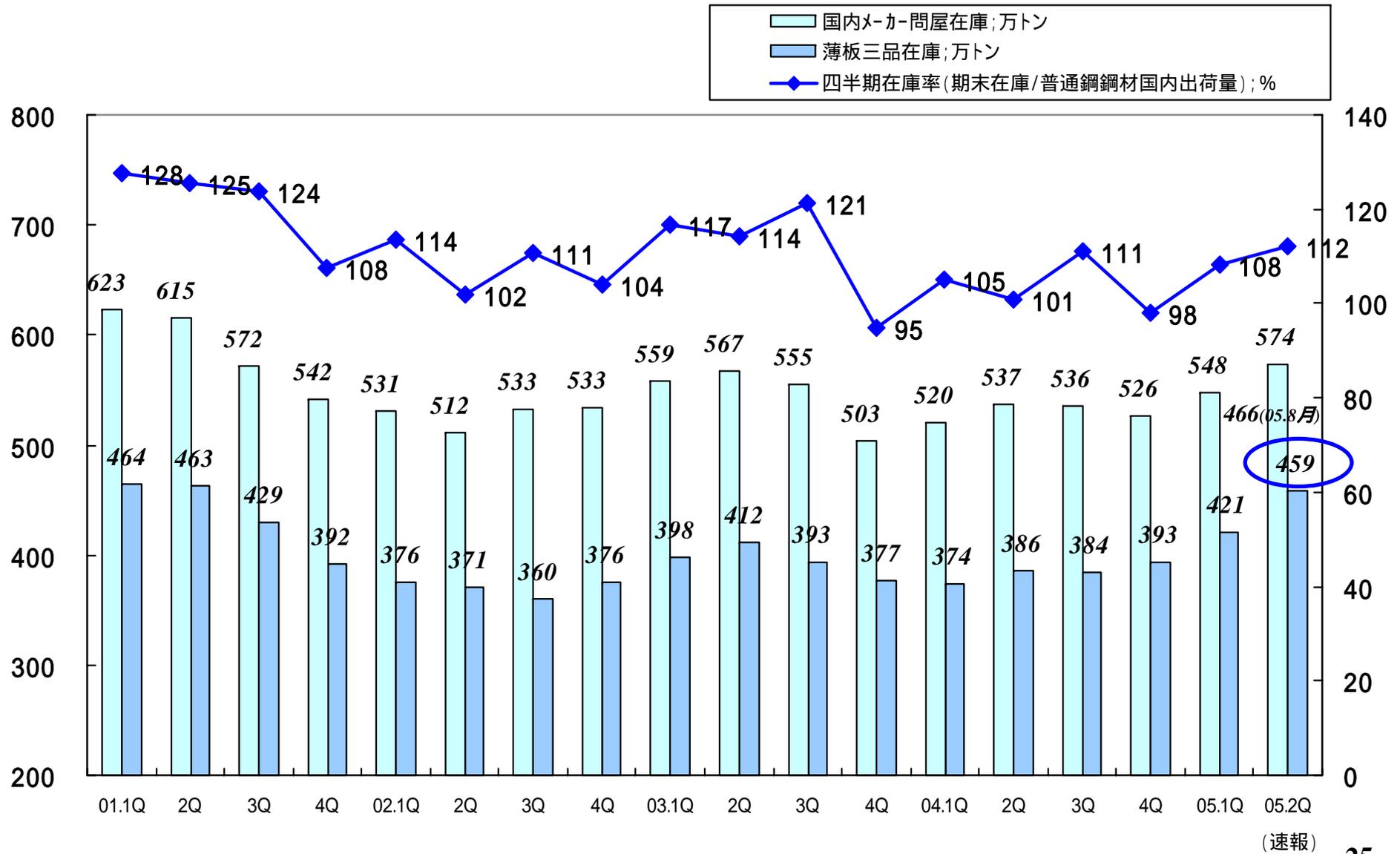
	05 上期実績			04年度 実績	04 上期 実績	04 下期 実績
	1/四期	2/四期				
	前回見通し: 5,735万トン					
全国粗鋼生産量 万トン	5,680	2,896	2,783	11,289	5,638	5,651
当社出鉄量 万トン	1,581	788	793	3,007	1,465	1,541
連結粗鋼生産量*1 万トン <参考> 当社単独	1,708 <1,573>	856 <785>	852 <788>	3,279 <2,988>	1,608 <1,461>	1,671 <1,527>
当社鋼材出荷量 万トン	1,476	743	733	2,951	1,429	1,522
当社販売価格 千円/トン	73.4	70.8	76.0	61.6	58.1	64.9
鋼材輸出比率 (金額ベース) %	31.6	32.2	31.1	31.6	31.1	32.1
為替レート ¥/\$	109	107	112	107	109	106
外貨ハ'ランス 億\$/期	3入超			4出超	1入超	5出超

\*1 北海製鉄の出鉄量含む

## 2. 国内鋼材消費・国内活動水準前提

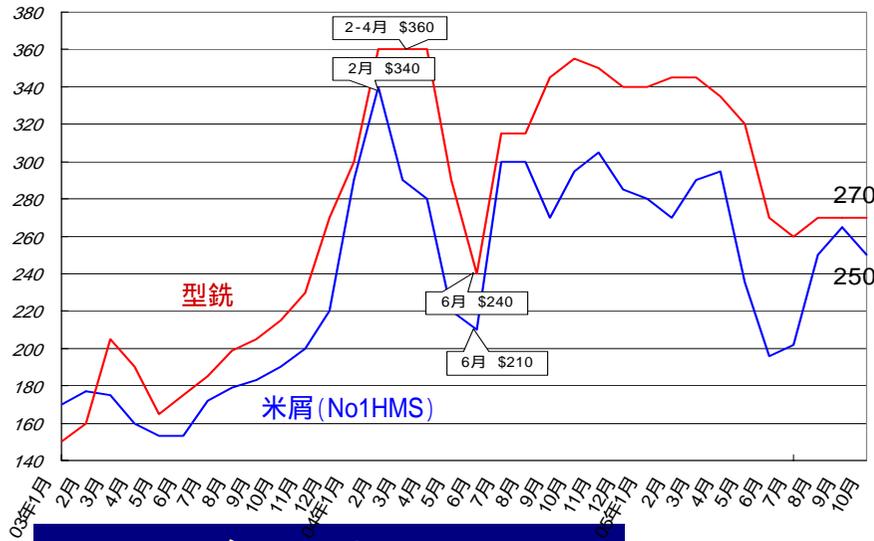
	05年度			04年度		
	見通し	05上期 実績	05下期 見通し	実績	04上期 実績	04下期 実績
<b>国内鋼材消費</b>						
国内鋼材消費計 万トン	7,456	3,694	3,762	7,315	3,598	3,717
普通鋼材消費計 万トン	6,349	3,144	3,205	6,248	3,070	3,178
建設 万トン	2,741	1,368	1,373	2,795	1,376	1,419
製造業 万トン	3,608	1,776	1,832	3,453	1,694	1,759
(うち造船) 万トン	(585)	(286)	(299)	(487)	(241)	(246)
(うち自動車) 万トン	(1,337)	(659)	(678)	(1,308)	(641)	(667)
特殊鋼材消費計 万トン	1,107	550	557	1,067	528	539
<b>国内活動水準</b>						
住宅着工戸数 万戸	119	62	57	119	62	57
非住宅着工面積 万m <sup>2</sup>	7,086	3,747	3,339	7,070	3,723	3,347
新造船起工 万GT	1,600	775	825	1,400	680	720
完成車生産台数 万台	1,070	525	545	1,062	513	549
KDセット輸出 万セット	834	404	430	745	373	372

### 3. 国内在庫推移(メーカー問屋在庫・薄板三品在庫)



# 4. 原燃料・フレート等の価格推移 (1) <2005.10.下旬時点>

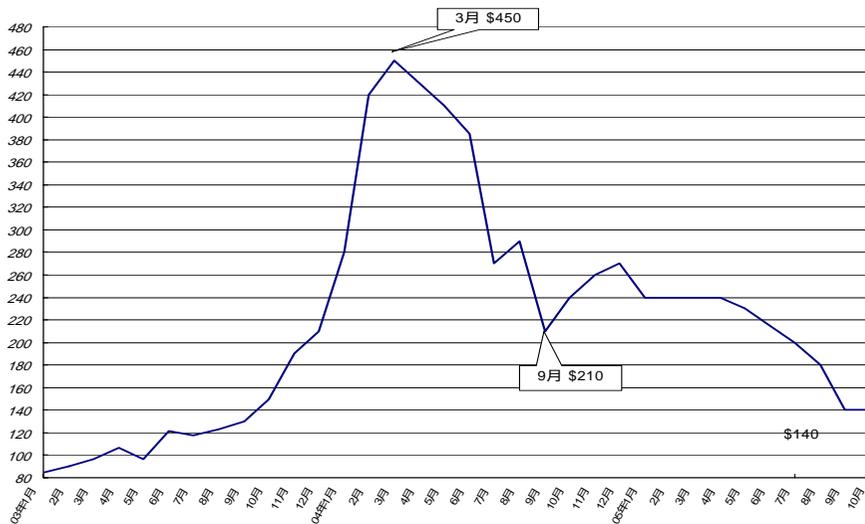
スクラップ価格 (US\$/t, CIF韓国)



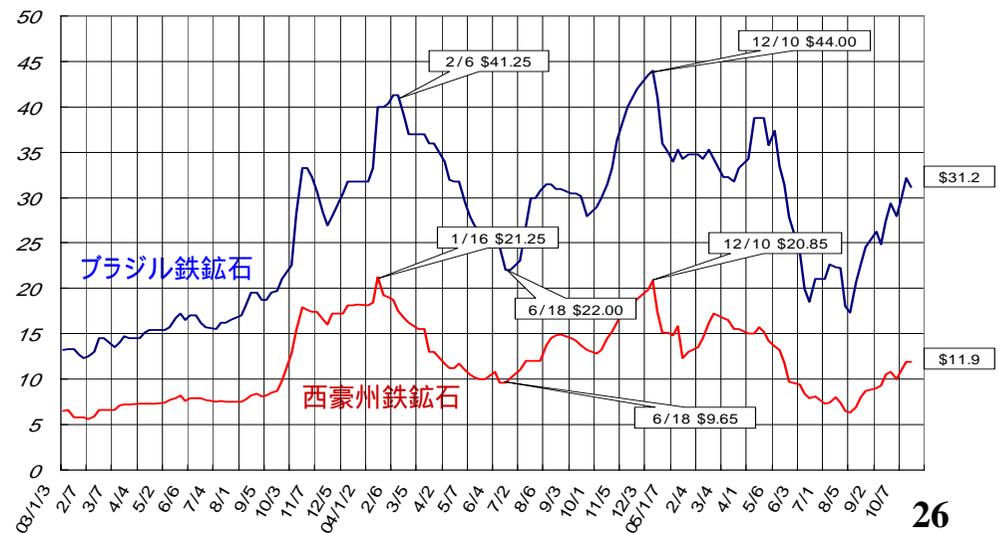
豪州一般炭スポット(US\$/t, FOB)



コークス(US\$/t, FOB)

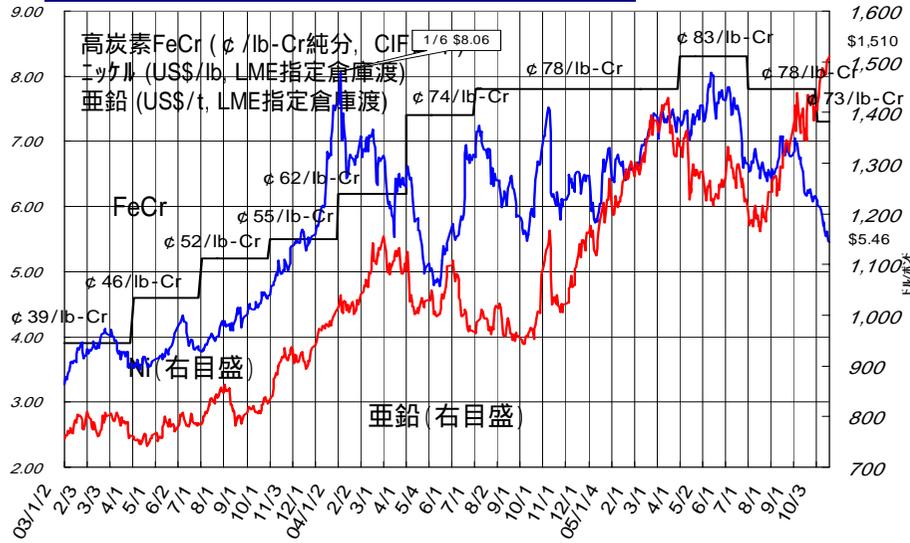


フレート(US\$/t ケーブ・サイズ'170千t型)



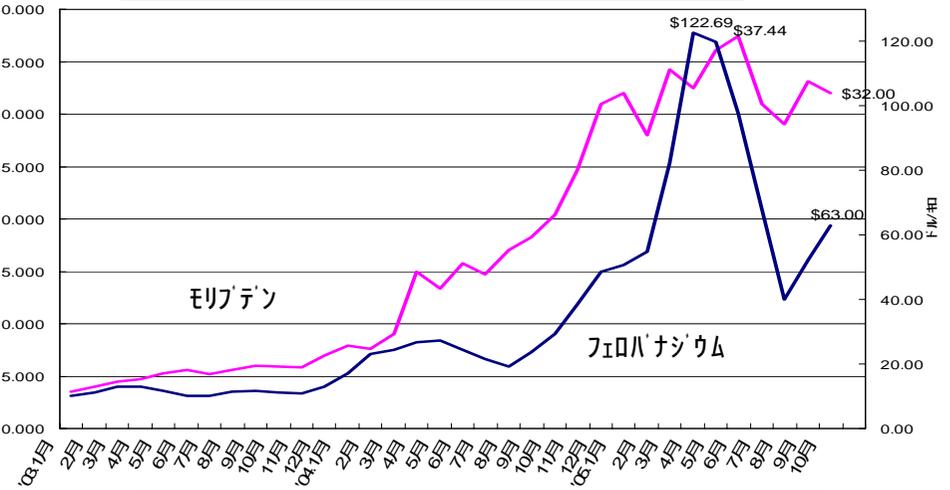
# 4. 原燃料・フレート等の価格推移 (2) < 2005.10.下旬時点 >

## 非鉄金属

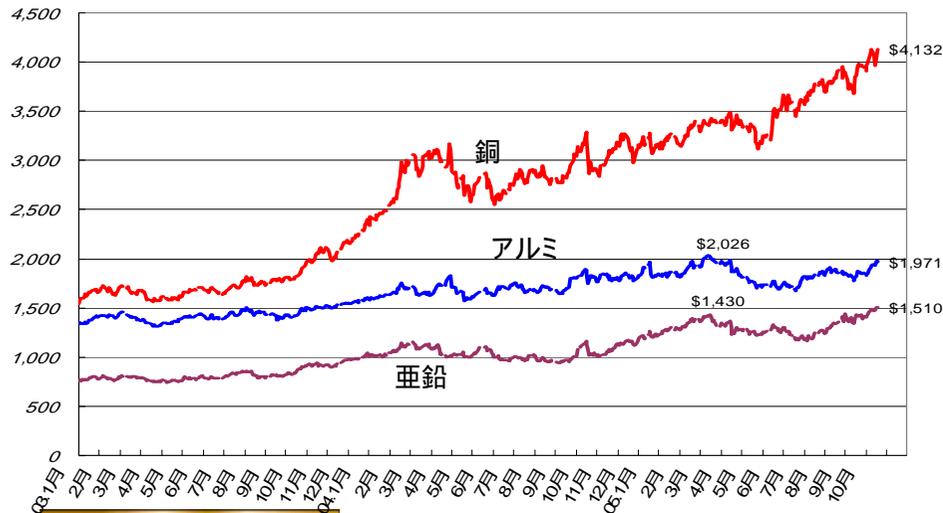


## モリブデン(MWM US\$/lb-Mo)

## フェロバナジウム(MBM US\$/kg-V)

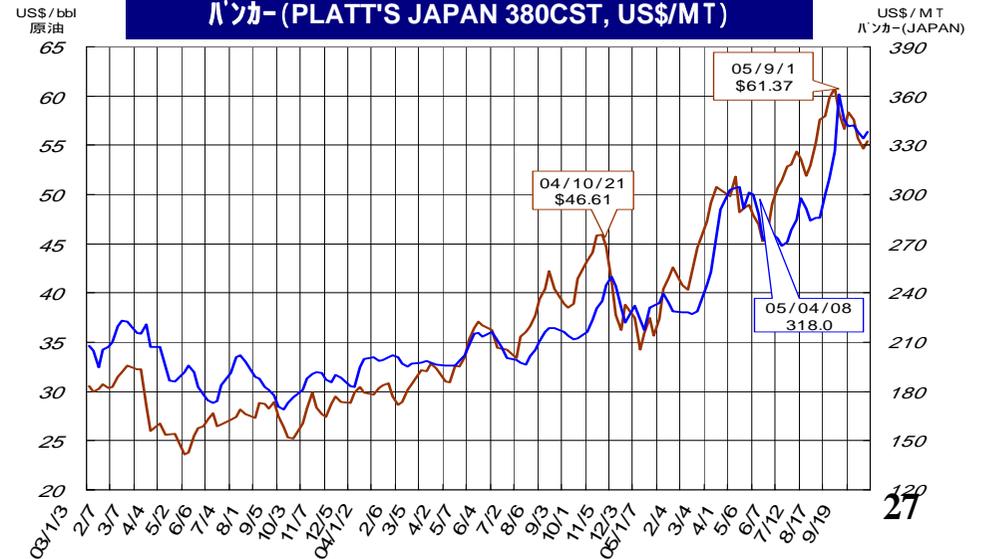


## ベースメタル (US\$/t, LME現物指定倉庫渡)



## 原油(OPECバスケット, US\$/バレル, 産油地渡)

## バンカー (PLATT'S JAPAN 380CST, US\$/MT)



## 5. エンジニアリング事業 連結受注高・売上高

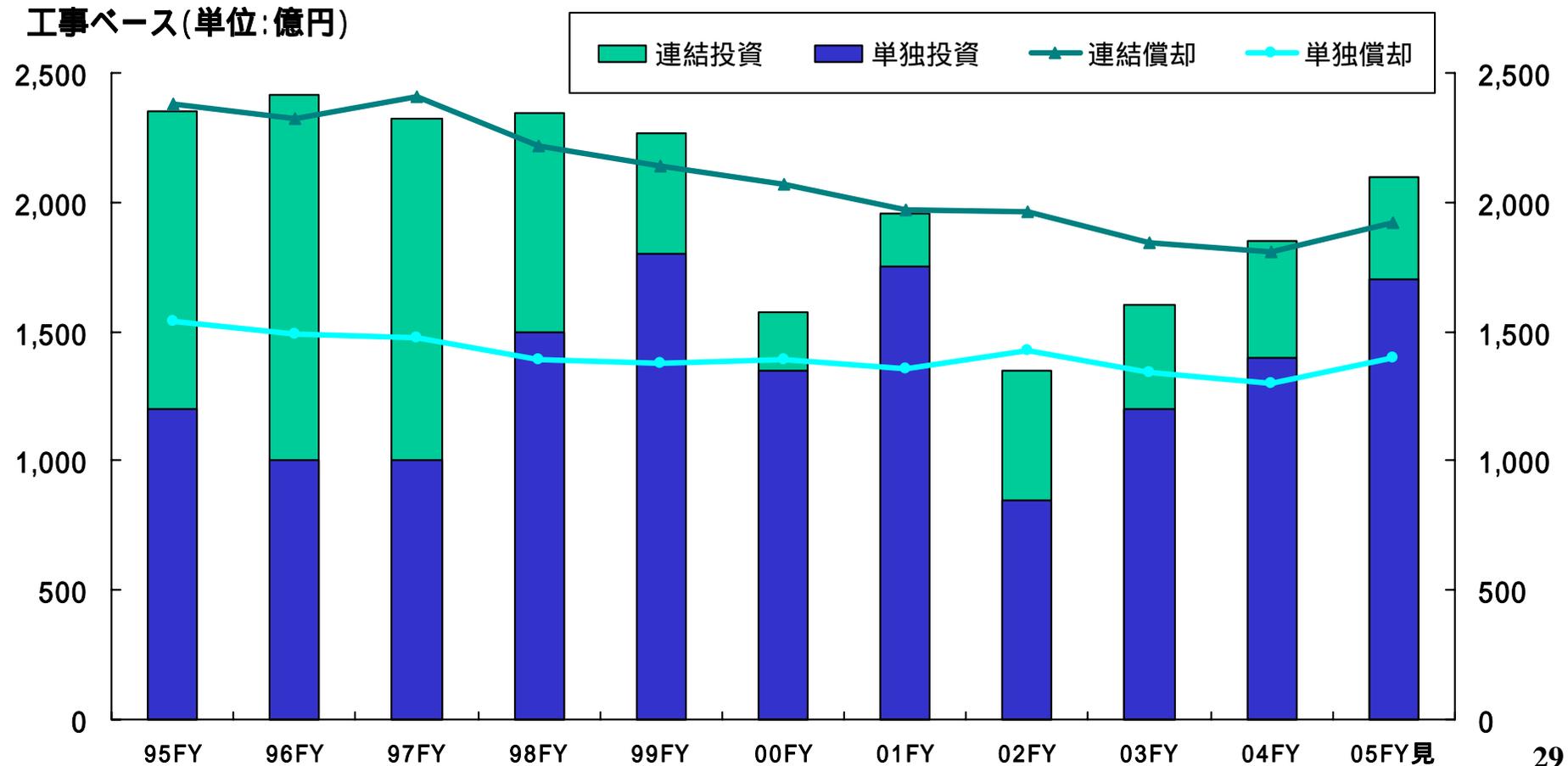
(単位:億円)

		連結受注高		連結売上高	
		05上期実績	04上期実績	05上期実績	04上期実績
	プラント・環境	590	364	339	351
	鉄構海洋・エネルギー	885	499	608	305
	建築工事	203	169	330	214
	<b>連結計</b>	<b>1,678</b>	<b>1,032</b>	<b>1,277</b>	<b>870</b>
	うち海外比率	27.7%	10.7%	25.2%	21.4%

	05FY見通し	04FY	03FY	02FY	01FY
連結受注高	<b>3,200</b>	3,354	2,864	3,283	2,509
うち海外比率	<b>29%</b>	9%	12.5%	34.1%	13.9%

## 6. 設備投資・減価償却費見通し(連結・単独)

( )内は減価償却費	02年度実績	03年度実績	04年度実績	05年度見通し	対前年度増減
連結	1,350(1,960)	1,600(1,840)	1,850(1,805)	<b>2,100(1,920)</b>	+ 250(+ 115)程度
単独	850(1,430)	1,200(1,340)	1,400(1,299)	<b>1,700(1,400)</b>	+ 300(+ 100)程度



## 7. 連結対象範囲

単位:社(Gr)	05上期末	増減	04年度末	03年度末	02年度末
直接保有	116	+ 2	114	110	105
間接保有	144	~	144	149	153
<b>連結子会社</b>	<b>260社</b>	<b>+ 2</b>	<b>258</b>	<b>259</b>	<b>258</b>
直接保有	44	1	45	48	60
間接保有	25	1	26	25	26
<b>持分法適用関連会社</b>	<b>69社</b>	<b>2</b>	<b>71</b>	<b>73</b>	<b>86</b>
<b>連結対象会社</b>	<b>329</b>	<b>~</b>	<b>329</b>	<b>332</b>	<b>344</b>
うち直接保有	160	+ 1	159	158	165

2002年度末 2005年度上期末 グループ会社数増減 **15社**

{ 増加51社 (連結子会社 + 42社、持分法適用関連会社 + 9社)  
 減少66社 (連結子会社 40社、持分法適用関連会社 26社)

注)「直接保有」は当社が直接保有する、「間接保有」は当社子会社が保有する、連結子会社及び持分法適用関連会社

## 8. 主要連結財務指標

* 年率		05上期実績	04年度	03年度	02年度	01年度
ROS(経常利益 / 売上高)	%	15.8	11.0	5.9	2.5	0.6
ROA(事業利益 / 総資産)	%	* 14.6	10.1	5.3	2.6	1.2
資産回転率(売上高 / 総資産)	回	* 0.90	0.88	0.79	0.73	0.64
棚卸資産回転率(売上高 / 棚卸資産)	回	* 5.47	5.99	5.41	4.92	4.37
自己資本比率(資本 / 総資産)	%	35.2	30.7	25.3	21.0	22.5
売上高借入金比率(借入金 / 売上高)	%	* 32.9	37.8	53.4	68.1	78.1
D/Eレシオ(借入金 / 自己資本)	%	83.9	107.9	166.3	237.2	222.3

(参考) 下記キャッシュ・フロー指標について、1999年度より東証規則に基づき連結短信に開示

・時価ベースの自己資本比率(株式時価総額/総資産)	69.1%	47.2%	44.3%	25.1%	32.1%
・債務償還年数(有利子負債/営業キャッシュ・フロー)	-	2.4年	5.4年	5.6年	9.3年
・インタレスト・カバレッジ・レシオ(営業キャッシュ・フロー/利息の支払額)	19.5倍	24.9倍	12.0倍	11.5倍	6.4倍

## 9-1. 直近の株主構成について

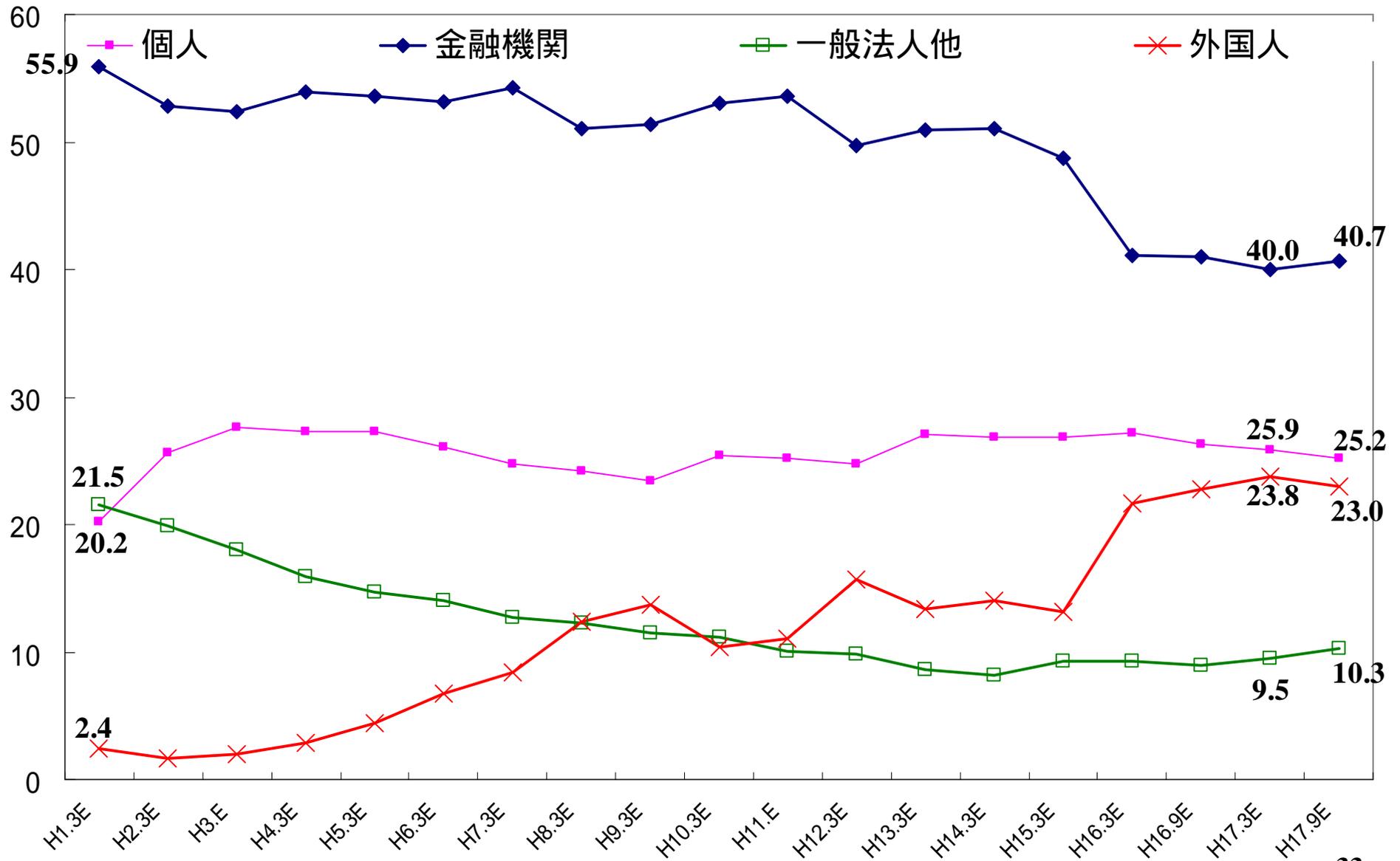
### 概況

	05/9E	05/3E	04/9E	05/9E 05/3E
発行済株式総数 (千株)	<b>6,806,981</b>	6,806,981	6,806,981	~
資本金 (百万円)	<b>419,525</b>	419,525	419,525	~
株主総数 (名)	<b>461,786</b>	470,611	483,601	-8,825

### 所有者別株式数

	05/9E	05/3E	04/9E	05/9 05/3E
個人	<b>(25.2%) 1,715,283</b>	(25.9%) 1,762,805	(26.3%) 1,789,094	( 0.7%) -47,523
金融機関	<b>(40.7%) 2,767,777</b>	(40.0%) 2,719,189	(41.0%) 2,792,196	( 0.7%) 48,587
一般法人他	<b>(10.3%) 701,699</b>	( 9.5%) 646,757	( 9.0%) 614,928	( 0.8%) 54,944
外国人	<b>(23.0%) 1,565,679</b>	(23.8%) 1,621,843	(22.8%) 1,554,870	( 0.8%) -56,164
自己株式	<b>( 0.8%) 56,543</b>	( 0.8%) 56,387	( 0.8%) 55,893	( ~ ) 156
合計 (千株)	<b>6,806,981</b>	6,806,981	6,806,981	~

## 9-2. 直近の株主構成について



---

## ・中期連結計画進捗状況

# 中期連結経営計画進捗状況(主要指標)

	02年度実績	03年度実績	04年度実績	05年度見通し	( )内は進捗率%
					05年度(中期)*1
売上高(億円)	27,493	29,258	33,893	38,650 ( - )	29,000
連結経常利益(億円)	688	1,728	3,714	4,950 (235%)	2,500
ROS(%)	2.5%	5.9%	11.0%	12.8% (155%)	9%
ROA(%)	2.6%	5.3%	10.1%	*3 12.1% (148%)	9%
連結株主資本(億円)	7,894	9,385	11,884	*2 15,100 (342%)	10,000
連結有利子負債残高(億円)	18,719	15,612	12,822	11,100 (280%)	16,000
D/Eレシオ	2.37	1.66	1.08	0.74 (212%)	1.6
総資産(億円)	37,571	37,059	38,721	*3 41,567 ( - )	37,000
FCF(億円)	1,874	3,399	3,644	1,180 (228%)	3,600/3年
製鉄事業コスト削減(累計)	-	+350	+700	+1,050 (124%)	+850/3年
製鉄事業グループ会社損益改善(累計)	-	+300	+850	+940 (313%)	+300/3年

\*1 2002年度に策定した当初中期計画値(最終年度:2005年度)

\*2 9/2東証終値に基づく有価証券評価差額を前提として算出

\*3 05年度上期実績値

---

## トピックス

# 連結経営強化の取り組み(1)

## 事業統合/整理/売却・提携/経営基盤強化 (2005.4月以降、既公表案件)

### 日鐵溶接工業(株)の完全子会社化 (2005.4月プレスリリース)

2005.4月 日鐵溶接工業グループが、今後一段と競争力を高めていくために、従来以上に当社と戦略を共有化し、経営資源の有効活用を図るべく、完全子会社化を実施。

### (株)中山製鋼所との連携深化(棒線圧延製造会社の共同出資設立・共同運営化)、及び当社による(株)中山製鋼所の株式追加取得 (2005.4月プレスリリース)

1. 2005.4月 棒線事業の競争力強化を目的として、棒線圧延製造会社を共同出資設立 (会社名:(株)NS棒線 [当社60%、中山製鋼40%])
2. これまでの鋼片及びコークスの取引、鋼材生産の受委託、関連会社間の事業統合等の連携策について今後とも更に深化し、双方でメリットを享受すべく、株式追加取得。

### (株)スペースワールドの経営譲渡 (2005.5月プレスリリース)

2005.7月 当社は加森観光(株)に(株)スペースワールドの経営を譲渡(当該会社について、100%減資し、加森観光(株)が新規単独増資を引受け、同社の完全子会社として事業再生を図る予定)

### 三菱製鋼(株)の電気炉設備の購入・再稼働、及び三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)の圧延余力の活用 (2005.2月プレスリリース)

1. 特殊鋼製造拠点である室蘭製鉄所において、急速に増加する需要への対応策を検討した結果、2001年に休止した三菱製鋼(株)殿の電気炉設備を購入・再稼働(2005.7月実施)するとともに、三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)殿の圧延余力を活用することについて基本合意。
2. 既存インフラの活用により、早期且つ効率的な一貫能力向上を図る。

## 連結経営強化の取り組み(2)

### 事業統合/整理/売却・提携/経営基盤強化 (2005.4月以降、既公表案件)

#### 中京製線(株)と(株)チタックの事業統合に向けた基本合意の成立 (2005.7月プレスリリース)

当社の子会社であり、中京地区における伸線メーカーとして国内建設業向けを主体とした普通線材及び自動車向けCH鋼線などの生産・販売を行う中京製線(株)と、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)の子会社であり、自動車向けを中心に普通線材及びCH鋼線の生産・販売を行う(株)チタックについて、線材二次加工メーカーの需要構造の変化への万全な対応と事業基盤の一層の強化を目的として、両社の事業統合に向けて基本合意成立。

#### 日本グラファイトファイバー(株)の出資比率変更と持分株式譲渡 (2005.7月プレスリリース)

当社と新日本石油(株)が各々50%出資しているピッチ系炭素繊維・加工製品の製造販売会社である日本グラファイトファイバー(株)について、当社の出資比率を3分の2に引き上げ、当社子会社であり炭素繊維を中心とする先端複合材を担う日鉄コンポジット(株)に当社持分株式を譲渡し、一貫製造販売体制を構築。

#### 当社と(株)ポスコの戦略的提携契約を更に5年延長 (2005.8月プレスリリース)

鉄鋼業を取り巻く環境が激変したこの5年間、当社と(株)ポスコの両社は着実に発展を遂げ、戦略的提携により有益且つ多大な活動成果をあげたことから、今後もより提携関係を深化・拡大すべく、従来以上に戦略を共有化し、経営資源の有効活用を図るべく、更に少なくとも5年の提携契約延長を決定。

#### 当社による日鐵物流(株)、製鐵運輸(株)の完全子会社化、及び日鐵物流(株)と製鐵運輸(株)の事業統合 (2005.9.8 プレスリリース)

製鉄事業の物流部門において中核的な役割を果たし、当社との戦略共有が重要である2社を完全子会社化。また、より一層効率的でコスト競争力がある物流提供のために、日鐵物流(株)と製鐵運輸(株)を事業統合し、新日鐵製品の構外輸送・一般営業を行う事業持株会社と製鐵所構内作業を行う地域会社に再編。

---

# 終了

本資料は、証券取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。